

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

| | | | |
|------|------------------------------------|-----------------------|-----|
| 講座名 | 君津市教育委員会スクールミュージアム事業「小櫃の森の恵みを感じよう」 | | |
| 開催日時 | 2021年10月29日（金）9時25分～11時25分 | | |
| 開催場所 | 小櫃の森・小櫃小学校校庭、体育館 | 小櫃小学校1年生25名 担任教諭2名 | 27名 |

活動概要

君津市スクールミュージアム事業は君津市教育委員会が実施している事業で、小櫃小学校は、地区の歴史、小櫃の森、校庭の樹木等を観察し、森の恵みを感じる。

まず、教育委員会から開講の挨拶、講師紹介があり、2コースに分かれて校内林を中心に観察に出発した。校庭にはヒマラヤ杉、ケヤキ、クヌギ等の巨木があり、観察は、これら巨木の特徴、特にクヌギの巨木は甘い樹液を出すのでクワガタやカブトムシが集まる木である話に、子供達が大変興味を示した。その後、ドングリ拾いをし、クヌギ、スタジイ、コナラ、シラカシなどのドングリを確認した。

次に、大きなヤドリギを発見したり、校庭のアオギリの種や、モミジの種が風に乗って広がる様子も観察し、植物は足で動けないので、いろいろな方法で住む世界を広げていることも説明した。



教育委員会の開講式と講師紹介



ヤドリギ発見



アオギリの種を採取

後半はクラフトづくりでイモムシケムンパづくりに挑戦した。アカガシの殻斗を胴体、ムクロシを頭にしてボスカで目と口を書いて仕上げた。少しずつ形が出来始めると、目を輝かしてつくようになっていった。



グルーガンで接着



出来た！ケムンパとミミズクだよ！



わたしのイモムシケムンパ

イモムシケムンパづくりは、時間がかかり、見本をつくり、終わった子供に作らせてみた。修了後、担任の先生から材料の申し出があったので、見本を渡し、業間時間等を活用して作成して貰うこととした。小櫃小学校は8月に教職員対象の学校林の観察研修を実施しており、校長始め自然観察会への理解が良く、とても気持ちよく実施することが出来た。何よりも、子供達の旺盛な好奇心と、明るく人なつっこさに元気を貰い、大変充実した時間であった。

君津市教育委員会 2名

F I C講師 石松、福村